

第8回 ものづくり日本大賞

北海道地域
受賞企業版



monodzukuri

第8回

ものづくり 日本大賞

本書は、第8回「ものづくり日本大賞」に北海道管内から選ばれた個人・グループの受賞内容のほか、併せて「ものづくり地域貢献賞」に選ばれた個人・グループの受賞内容を解りやすく紹介するために作成した冊子です。

北海道管内では、22件の応募案件があり、その中から1件が「内閣総理大臣賞」を、1件が「経済産業大臣賞」を、1件が「優秀賞」を受賞しました。

さらに、北海道経済産業局独自の賞として、8件を「ものづくり地域貢献賞」に選定しました。本書により、ものづくりに関わる人・企業への理解がさらに深まるとともに、多くの若い世代の方々がものづくりに対して関心を持っていただくきっかけになることを期待します。

令和2年3月

北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課

ものづくり日本大賞とは

我が国産業・文化を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめることを目的に創設した表彰制度です。経済産業省、文部科学省、厚生労働省及び国土交通省の4省庁連携により、平成17年に第1回を開催し、その後2年に一度開催することとし、ものづくりの中核を担う中堅人材、伝統の技を支える熟練人材及び将来を担う若手人材を表彰するものです。また、チームワークが我が国の強みであることを踏まえ、個人のみならず、グループも受賞の対象としています。

表彰の種類

●内閣総理大臣賞 ●経済産業大臣賞 ●特別賞 ●優秀賞 ●ものづくり地域貢献賞

ものづくり地域貢献賞とは

北海道経済産業局の独自の取り組みとして、北海道の産業・文化の発展を支えてきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させるため、特に北海道地域の産業等に大きく貢献したものづくり人材を表彰し、その存在を広く社会に伝えるとともに、ものづくりに携わる人材の意欲を高めることを目的に、「ものづくり地域貢献賞」を設けております。



ものづくり地域貢献賞

(製品・技術開発部門)

オオカミ型野生動物撃退装置 (オオカミ型ロボット)の開発



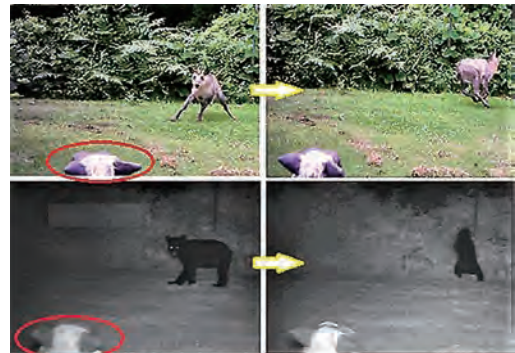
自動車専用道の入り口をシカから守る



田んぼを守るモンスターウルフ



モンスターウルフ全体像



検証写真

農産物被害を及ぼす野生動物を撃退するオオカミ型ロボット「モンスターウルフ」を開発。特定周波数の強力点滅光及び実験に裏付けされたオオカミの声を始めとした57種類の音声、オオカミの風貌と可動部分で構成され、**効率的・継続的に野生動物の撃退効果を発揮。**

2016年から生産開始し、農家や農協、自治体等に約50台を販売。初号機(2013年生産開始)のモンスタービームと合わせると累計販売台数230台、装置売上7900万円、推定で年間8625万円の害獣被害削減に貢献。

受賞者名

(敬称略)

太田 裕治

(株)太田精器
代表取締役

佐々木 修志

(株)ツウイン
代表取締役

折笠 誠

(株)太田精器
製造部 主幹

相馬 幸作

学校法人東京農業大学
生物産業学部 北方圏農学科 教授

大久保 倫子

学校法人東京農業大学
生物産業学部 北方圏農学科 助教

番井 菊世

司法書士事務所First
司法書士

宮坂 元博

(株)コーポレーション・ミヤ
代表取締役社長

受賞者所属企業

株式会社太田精器

代表取締役 太田 裕治 電話 0125-65-2759
住所/北海道空知郡奈井江町字奈井江609番地
ホームページ/http://www.ohaseiki.co.jp/



グループリーダー
太田 裕治さん